



ふるさと

くまむら議会だより

108号
2023.2.27

さらなる
復旧・復興に

おけて

もくじ

議長あいさつ	2
12月定例会	3
12月定例会議案等審議結果	4
一般質問	5
編集後記	12

一勝地駅からのぞむ雪景色 (中園地区)



「生活再建が更に前へ進み、希望が持てる年に」



響をあたえ続けています。令 実であります。議会としても、
と頑張つてまいります。

和2年7月豪雨災害からの復 引き続き村民が安心して安全
に暮らせる球磨村へ、早く復
旧し、復興へ進めるよう国、県
へ強く要望してまいります。

謹んで新年のご挨拶を申し上げ
ます。また、日頃から議会
に対しましてご理解とご協力
を賜り深く感謝申し上げます。

昨年、球磨村においては、災
害復旧工事や渡と一勝地に建
設される災害公営住宅の着工、
球磨村義務教育学校名が球磨
清流学園に決定するなど、災
害からの復旧・復興が目に見
えて進む一方、安心して住む
ことができる宅地造成や宅地
かさ上げ事業、国の遊水地や
引き堤の整備事業、JR肥薩
線復旧の方向性など生活再建
が描けない方がいることも事
令和5年は、渡と一勝地に建
設中の災害公営住宅が完成し
入居ができるようになります。
また、神瀬地区に建設が予定さ
れている小規模住宅の工事も
塚の丸宅地造成工事も始まり、
一部ではありますが、安心し
て住むことのできる生活も始
まります。被災された皆様の
生活再建が更に前に進み、村
全体の生活が少しでも被災前
に戻れよう、議員も一丸となつ
持てる年になりますよう心か
らご祈念申し上げます、年
頭に当たつてのごあいさつと
させていただきます。

令和5年1月吉日

球磨村議会議長 舟戸 治生

感染症は感染の波を繰り返し
終息が見えないなか、ウクラ
イナ情勢や急速に進展する円
安による原油価格・物価の高
騰など、私たちの生活に想像
もつかない苦難を与え、わが
国の社会経済活動に深刻な影

12月 定例会

球磨村義務教育学校名は、

「球磨清流学園」に決定

第9回定例会が、12月9日から16日までの8日間の日程で開催されました。

初日は、9月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、一部事務組合の報告を行い、続いて、議案10件、同意3件が上程されました。

一般質問は7名の議員が通告書に基づき登壇し質問を行いました。最終日には、議会からの追加上程を行い、5件の意見書提出について可決し、提出されました議案すべてが全員一致で可決しました。14日の午後は、公有林整備事業により間伐が行われている村有林の視察を行いました。

(審議の結果は4頁に掲載)

議案の内容(一部)は次のとおりです。

○一勝地交流センター「かわせみ」の指定管理者の指定

指定管理者の募集を行い、応募のあった中から一般社団法人「トラックセッション」が指定されました。

当社は、水上村のスポーツ施設「スカイヴィレッジ」の運営や、マラソン大会などのスポーツイベントを運営する会社で、かわせみの施設を活用し、球磨村の自然を活かしたイベントの開催など、時代のニーズやトレンドに対応した企業活動と村全体への経済効果を波及させることを目的とされています。

○球磨村義務教育学校設置条例の制定

令和6年4月から分離型で運用が開始される球磨村義務教育学校設置条例で、名称は84点の応募の中から協議のうえ、球磨村立球磨清流学園と決定しました。

○球磨村教育委員の選任同意

大無田 光幸 氏(大無田班)

○球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意

今村 茂喜 氏(島田班)

○人権擁護委員候補者の推薦

吉田 智子 氏(茶屋班)

請願書及び陳情書による意見書提出の審議

意見書提出について可決し、国へ意見書を提出しました。

1	豪雨災害等から国土を守る治山事業及び森林整備の強化を求める意見書について
2	介護保険制度の改善を求める意見書の提出について
3	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める意見書の提出について
4	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書の提出について
5	川内川流域における消防自然水利及び付帯施設の整備にふれあい広場の整備を求める意見書の提出について

12月定例会 審議した議案等とその結果

議案番号	件名	結果	賛成	反対
議案第54号	熊本県市町村総合事務組合を組織する地域公共団体の数の減少及び規約の一部変更について	原案可決	9	0
議案第55号	一勝地交流センター「かわせみ」の指定管理者の指定について	原案可決	9	0
議案第56号	球磨村立義務教育学校設置条例の制定につて	原案可決	9	0
議案第57号	球磨村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第58号	球磨村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第59号	球磨村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第60号	球磨村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第61号	令和4年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第62号	令和4年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第63号	令和4年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決	9	0
同意第4号	球磨村教育委員会委員の選任同意について	原案同意	9	0
同意第5号	球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案同意	9	0
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	9	0
発議第8号	豪雨災害等から国土を守る治山事業及び森林整備の強化を求める意見書について	原案可決	9	0
陳情書（追加日程）				
発議第9号	介護保険制度の改善を求める意見書の提出について	原案可決	9	0
発議第10号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める意見書の提出について	原案可決	9	0
発議第11号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書の提出について	原案可決	9	0
発議第12号	川内川流域における消防自然水利及び付帯施設の整備にふれあい広場の整備を求める意見書の提出について	原案可決	9	0

(採決の人数は、議長を除く9名)

どなたでも傍聴できます。是非、おいでください。

次回は、3月定例議会（日時未定）

12月定例議会の傍聴人数は延べ13人でした。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、傍聴者も手指の消毒とマスクの着用、傍聴席の座席を1つ空けて着席をお願いしました。

義務教育学校についての教育方針は

田代 利一 議員



答 令和6年4月の開校に向けて進めている

問 令和6年から施設分離型の義務教育学校が開校するが、将来の教育環境として一体型の学校を計画されているのか。

村長 11月の総合教育会議で名称建設の基本方針について審議した。名称については村内外から84点の応募があり、その中から11点を絞り込み児童生徒の意見を反映し開校準備委員会にて球磨村立清流学園と決定した。

基本方針としては、施設分離型に対し1年生から9年生までが一つの校舎で学ぶ施設一体型の方が教育環境に適しており、教職員も指導しやすいメリットも多く、今後は施設一体型を目指していく方針で一致したが、建設の時期や場所が決まっていない。ただ、子どもたちが安全で安心して学べる場所に建設することが第一であり、災害時における避難場所として利

用できることも重要である。



義務教育学校開校準備委員会の様子

問 一体型の学校を造ることで村の財政状況が悪化し、住民サービスの低下が懸念されるが。

村長 財源については、中長期財政計画と照らし合わせながら、優先順位をつけ、全庁的に事業を

進めていく必要があり、一般財源の抑制と国の補助金等を有効に活用していく。

問 出席者や回答者が少なかった住民説明会やアンケートを受けて、村長と教育長の所感を伺う。

村長 意見や回答が少なかったのは残念だが、改めてアンケート等をしなから、住民の考えをしっかりと把握した上で、決めていきたいと考えている。

建設場所の意見は渡・一勝地は半々で、一勝地の大半は財政面での心配が多かったと思う。

教育長 説明不足と反省して、再度、一体型・分離型義務教育学校の特徴などを詳しく説明した上で、もう一度住民の意見を伺っていただければと思っている。

問 公共用地の活用と、渡小学校と千寿園の跡地の活用について村長の考えは。

村長 村で唯一のL2をクリアした平坦な面積を確保できる総合運動公園には、あらゆる災害にも対応できる防災拠点や安全安心な住環

境の整備が必要であり、義務教育学校の候補地として検討している。

渡小学校周辺の村有地には、総合運動公園の機能を分散し、村民が集えるスポーツ振興の場として、公園等の整備を想定している。千寿園の跡地等を利用して慰霊公園の整備が出来ないか考えている。

問 4年度予算の現在までの執行状況、事業の進捗状況は。

村長 災害から復旧、復興業務に加えて、新型コロナウイルス感染症対策や予算が伴わない業務も加わり業務量は大幅に増加しており、予算執行が遅れている業務、執行率が低い事業もあるので、復興計画の主要施策ごとに、今までの実績、進捗を見直し予算執行状況を把握するように命じた。

※L2 令和2年度版防災マップに示された最大浸水想定区域（1000年に1度、1000分の1の確率）

神瀬地域の避難路及び施設、計画
進捗状況については 東 純一 議員



答 公営住宅の検討を進め、避難路・避難地に取り組み
早期完成に努める

問 地域おこし協力隊の状況について、これまでの隊員数と活動期間、その成果、効果はどのようなになっているか。

村長 これまで8名の協力隊を採用し、現在6名の隊員が活動しており、随時、担当職員と意思疎通を図っている。地域住民と共同して様々な活動に取り組むことで、隊員と地域との信頼関係が構築され、隊員に地域への愛着が生まれることで、定住を決定し、任期終了後も地域での活動を続けることが期待される。

問 途中で辞められた方が2名おられたということだが、辞任されたことに対してはどのようなことが考えられるか。

復興課長 希望する活動と実際の活動とのズレというものも原因にあると思っている。

問 大切なのは、いかに行政と隊員が立案し、語り合いながら、地方の課題に向き合っていくか、サポートしていくかだと思う。定期的な提案、ミーティングはやっているのか。

復興課長 その都度、状況の共有、情報交換を行いながら活動に取り組んでいる。

問 神瀬地区中心部においては、かさ上げ事業等、並行して公営住宅の整備となるが、避難路・避難地についても並行して進めていくのか。

復興課長 避難路・避難地についても、現在用地取得に動いている。なるべく早い段階で避難地まで造成できるように取り組んでいきたい。



神瀬小規模災害公営住宅建設予定地

村長 地区の皆様の提案、要望等を踏まえながら、しっかりと活用を図っていく。

問 復旧、復興と同時に、心の癒し、生きる活力も必要ではないか。今、村内には、緑の広場も遊具もグラウンドもない。村民の心に大きな役割を果たすと思うが、これらについての考えは。

村長 村民が求める心の安らぎの場として、総合運動公園、遊水地内と渡小学校周辺の総合的な活用方を考慮しつつ、施設の整備を検討している。

問 大瀬地区の村有地については、以前あった工場もすべて解体され、広い更地となっている。現在、神瀬地区にヘリコプターが着陸するところがない。ヘリポートなど、この広場を活用できないものか。非常時に重要な中継ポイントになりえると思うが。

村長 時間はかかると思うが、しっかりと村民が集える場を整備していきたいと考えている。

義務教育学校の開校を見据えて、更なる子育て支援の考えは

西林 尚賜 議員



答 今後、給食費の全額無償化、高校生への通学補助等について検討していく

問 住まいの再建計画が示され、事業が進められているが、災害公営住宅、塚ノ丸団地造成等、工事の進捗状況は。

村長 工事の進捗状況は、一勝地災害公営住宅の遅れはないものの、渡災害公営住宅においては、生コンの供給状況から工期の遅れが生ずる可能性がある。また、塚ノ丸団地及び避難路については、県の委託工事により避難路の一部が工事契約済み、1期分の造成工事等も年度内に発注予定である。

総務課長 一勝地災害公営住宅は、募集戸数8戸に対して応募6世帯、審査の結果、5世帯が決定。渡災害公営住宅は、募集戸数60戸

に対して応募74世帯、審査の結果、56世帯が決定。一王子団地は、募集区画数14区画に対して応募8世帯10区画が決定。塚ノ丸団地は、募集区画数27区画に対して応募19世帯22区画が決定。

問 災害公営住宅の入居、一王子団地分譲、塚ノ丸団地分譲の審査、決定の時期となっているが、応募、分譲の状況は。

教育長 令和6年度からの義務教育学校体制に向けた準備が進められているが、学校開校に併せて人口減少対策の好機と考える。移住、定住につなげる考えは。

村長 現在、高校生等には、医療費の無償化を行っている。JR肥薩線が連休状態であり、保護者による送迎をされている家庭は少なくない。燃料代も高騰していることから、通学費の補助を含め、移住・定住に向けた支援策について検討していく必要がある。

教育長 令和6年度からの義務教育学校体制に向けた準備が進められているが、学校開校に併せて人口減少対策の好機と考える。移住、定住につなげる考えは。



建設が進む渡災害公営住宅

問 一王子団地並びに塚ノ丸団地の2区画を希望された方の要件は。また、災害公営住宅、分譲住宅の二次募集の時期は。

総務課長 2区画の要件は、兼業農家の倉庫、事業をされる方の作業場兼用倉庫、事業を予定される方の駐車場の他、特別な事情を考慮したものである。審査の中で精査した上で決定した。また、2次募集の時期は、調整中であるが、年度内を目標に検討中である。

教育長 小中学校の給食費は、現在2分の1相当額を助成している。給食費の全額無償化に向けて、財源と財政状況等を鑑みながら、実施の可否を検討していく考えだ。

問 子育て世代への様々な支援がある中、移住・定住につなげる、更なる支援策は。

教育長 小中学校の給食費は、現在2分の1相当額を助成している。給食費の全額無償化に向けて、財源と財政状況等を鑑みながら、実施の可否を検討していく考えだ。

問 令和6年度からの義務教育学校体制に向けた準備が進められているが、学校開校に併せて人口減少対策の好機と考える。移住、定住につなげる考えは。

村長 現在、高校生等には、医療費の無償化を行っている。JR肥薩線が連休状態であり、保護者による送迎をされている家庭は少なくない。燃料代も高騰していることから、通学費の補助を含め、移住・定住に向けた支援策について検討していく必要がある。

教育長 令和6年度からの義務教育学校体制に向けた準備が進められているが、学校開校に併せて人口減少対策の好機と考える。移住、定住につなげる考えは。

村長 現在、高校生等には、医療費の無償化を行っている。JR肥薩線が連休状態であり、保護者による送迎をされている家庭は少なくない。燃料代も高騰していることから、通学費の補助を含め、移住・定住に向けた支援策について検討していく必要がある。

教育長 令和6年度からの義務教育学校体制に向けた準備が進められているが、学校開校に併せて人口減少対策の好機と考える。移住、定住につなげる考えは。

村長 現在、高校生等には、医療費の無償化を行っている。JR肥薩線が連休状態であり、保護者による送迎をされている家庭は少なくない。燃料代も高騰していることから、通学費の補助を含め、移住・定住に向けた支援策について検討していく必要がある。

教育長 令和6年度からの義務教育学校体制に向けた準備が進められているが、学校開校に併せて人口減少対策の好機と考える。移住、定住につなげる考えは。

村長 現在、高校生等には、医療費の無償化を行っている。JR肥薩線が連休状態であり、保護者による送迎をされている家庭は少なくない。燃料代も高騰していることから、通学費の補助を含め、移住・定住に向けた支援策について検討していく必要がある。

教育長 令和6年度からの義務教育学校体制に向けた準備が進められているが、学校開校に併せて人口減少対策の好機と考える。移住、定住につなげる考えは。

村長が描く将来的教育環境ビジョンは

高澤 康成 議員



答 さまざまな課題の解決に向けて、将来を見据えた教育環境が重要である

問

新たな教育環境整備が進む中、義務教育学校の将来を見据えた施設一体型の方向性は、建設場所を含めて議論し尽していない。住民説明会に何を求めたのか理解し難いが。

問

今後の村づくりの中で、分離型・一体型、各地域の振興を含めた方向性を見出すため、再協議を提案する。

教育長

当初は小学校の統合だけの議論を行ったが、再編計画検討委員会の中で再編するなら義務教育学校制度を総意のもとで決定された。

村長

学校再編計画検討委員会の提言を踏まえ、令和6年度から施設分離型義務教育学校の再編が決定した。更に総合教育会議において、子どもたちの教育環境に適し、メリットが多い施設一体型を目指す方針で一致。

建設の時期や場所は決定していないが、今後の財政計画、その他事業等を踏まえ、丁寧に説明しながら引き続き検討する。

問

農業振興は災害を機に真剣に見直す時期だと思う。稼げる農業への転換を図るため、これまでの農業振興と今後の農業振興は。

村長

生産者の高齢化、担い手不足、有害鳥獣被害等、様々な課題に向けて取り組んでいる。主要農産物である梨、栗の栽培の他、高齢者でも収入が得られる奨励作物の巡回指導を行い、有害鳥獣被害対策、農地の保全等、今後も復興計画の農業振興等方針を基に補助事業を活用し、農業振興に取り組む。

産業課長

農業振興の補助金は、維持的経費か投資的経費かの判断は難しい。今後も補助事業を有効的に活用し、農業者の所得が維持、向上することを目的に農業の振興に努めていく。

問

復興の状況について当初、被災者第一、住民の要望等を踏まえての村づくりを行うことだったが、目に見える復興、現状のスピード感など進捗状況をどのように思っているのか。

村長

復興計画に基づき、1日でも早く住宅の再建や被災前の生活を取り戻す取組みを進めており、優先すべき生活再建の住宅整備は予定しているスケジュールに沿った形で順調に進んでいる。豊かな資源を後世に継承し、球磨川流域の山村暮らしに誇りを持ちながら、子どもから高齢者までの住民が安全に安心して住み続けられる球磨村の未来へつながる復興に向けて、政治生命をかけて取り組んでいく。



住宅再建予定地の塚ノ丸団地

総合計画と復興計画の整合性、将来ビジョンと各地域の振興策は

永椎樹一郎 議員



答 時代の要請に対応し、未来に向かって持続可能で豊かな村づくりを進める

問 国の経済総合計画、コロナ対策交付金を活用した物価高騰に対する村民への支援は。

村長 コロナ対策交付金は、国の割当でもあるがしっかりと村民のために、適切に活用していく。

問 福祉施設に物価高騰に対する支援を行うのであれば、保育園2園に対しても支援を行うべきではないか。

村長 今後、コロナ対策交付金等が来るようであれば、その折にはしっかりと考えて協議していく。

問 物価高騰支援策として、「くらしの応援商品券」村民の生活に影響を及ぼしている今、「商品券」等の追加支援は考えられないのか。

村長 財政状況を見極めながら、できる範囲内でしっかりと検討していく。

問 復興計画は、総合計画を踏まえたうえでの計画であるが、総合計画の前期計画、復興計画との検証についてはどう考えているか。

村長 前期計画については、災害があり進捗については、なかなか難しいところではあるが、前期計画を見極め、精査し、今後の後期計画にしっかりと反映していく。

問 総合計画、復興計画にも示してある村の将来ビジョン、村づくりについては、新たな課題も見えてきている。効果的、効率的な持続性のある事業、必要性や有効性を含めしっかりと評価検証



今後の利活用が期待される「たかおと」跡地（現在）

していく必要があると思うが、体づくりは出来ているのか。

村長 評価、効果の検証については、これまでなかなか出来ていない。今後は体制づくり等を含め、しっかりと取り組んでいく。

問 村の将来ビジョンや復興策は、各地域の振興策があって復興が見えてくる。各地域の魅力、資源を活用した振興策をどのように考えているか。

村長 各地域の課題や復興の方向性も異なることから、地域

別に復興方針をまとめ、関係団体、国県等の事業と連携や調整を行い、復興に向けて取り組んでいく。

問 来年度の予算編成の方針、復興策を見据えた予算編成についての考えは。

村長 復興計画に掲げる災害に強く、豊かな地域資源を後世に継承し、住民が安全に安心して住み続けられる山里球磨村の復興を図るため、事業に優先順位をつけ、計画的に復旧、復興事業を実施していく。

問 予算の財源確保もあると思うが、来年度の予算編成を行ううえで、現時点での村長の思いは。

村長 いくつがある中で、子どもたちへの支援、高齢者福祉についても、高齢者もいろいろな困り事があるなかで、関係機関と連携した取り組み、「にぎわいづくり」など、来年度に向け新たな取り組みを考えていかなければならない。

「トラックセッション」の「かわせみ」の地域雇用は

宮本 宣彦 議員



答 若者が雇用され、経営に携われる方向で

問

一勝地交流センター「かわせみ」の指定管理について、今回、一般社団法人「トラックセッション」へ指定管理を行なう予定とされている。社団法人の活動状況は。

村長

県内の多数のイベント企画運営の実績があり、公共施設の管理業務や委託もあり、水上スカイヴィレッジで年間延べ1万人利用という実績がある。また、飲食店運営のノウハウも持っており、鹿肉のふりかけなど特産品開発も手がけている。

問

経営方針及び具体的な取り組みは。

村長

球磨村の新たな魅力を創出する提案を常に行ない、時代のニーズやトレンドに対応した企業活動を行なう。「かわせみ」の運営はもとより、地域資源のPRや棚田、蛍・キャンプ等を利用した

イベント企画運営、eスポーツを活用した世代間・地域間交流、移住者支援、特産品開発など計画されている。

問

リバイバルトレイル・ショートin球磨村では、地域の方々のご協力とおもてなしで大盛況であった。今後の取り組みは。

教育課長

多くの方々が次回も参加したいとのご意見だった。懸案事項もある中、今後ふるさと納税、特産品の開発等も併せながら、地域経済の好循環を図っていければ、地域が賑わい、球磨村全体も賑わっていくと考えている。

問

交流人口の増加と地域雇用の創出についての考えは。

村長

「トラックセッション」は、トレイルラン以外にもいろいろなイベント等をすると考えており、交流人口の増加を期待してい

る。地域の雇用ということでは、若い人たちが帰ってきて「かわせみ」に勤めてもらい、将来的には、経営に携わってもらえるような方向で行ければと考えている。また、ワーケーション等による企業誘致を将来的に行ないたいとの考えがあり、ぜひ球磨村で起業してもらいたい。

問

友尻・宮園地区の宅地高上げに関する村の考えと対応は。

村長

JR下の県道については、高上げをすると、ガードまでの高さがなくなり車両通行不能となってしまう高上げは難しい。また、球磨川の増水により幾度となく浸水が繰り返され、友尻地区からも避難路整備の要望がなされている。県もその必要性を認識しており、現在、強靱で信頼性の高い避難路整備に向け、JR敷地の活用を含めて検討されている。村は整備の方向性が決まり次第、県と連携しながら進める。

問

JRの敷地として管理されている取り付け道路を通じて避難することは最大の選択と思うが。



かさ上げができない一勝地ガード下

建設課長

今、避難路として使えないかという協議をしているが、回答をもらえていない状況である。

問

日頃から通学路・スクールバス路線として重要な道路である。災害時の対応は。

教育課長

令和6年度に義務教育学校が再編スタートするが、しばらくの間、今の通学体制は変わらない。空振りを恐れずに早めの対応に努めている。

安全確保が一番ということ而努力。

千寿園の再建で土地の無償貸付はなぜか

板崎 壽一 議員



答 村民や地域に貢献する公益事業には普通財産を無償で貸付出来る規定に基づいている

問 再建場所として村の一等地の渡運動公園多目的広場に建設されるが、なぜ、無償提供なのか、前事業の契約と今回の契約を村民に詳しく説明して欲しい。

村長 千寿園は開設当初の平成12年、球磨村財産の交換、譲与、貸付等に関する条例第4条第1号において、村民や地域に貢献する公益事業のように供するとき、普通財産を無償で貸付出来る規定に基づき、30年間の土地の無償貸借契約を締結し球磨村の高齢者福祉の増進に寄与してきた。今回も特別養護老人ホームが存続、運営される限り前回と同様に30年間の土地の無償貸借契約を締結することになっている。

問 今回、土地、建物の場所が変わっているの、条例を適用

しても契約内容が変わると思うが。

総務課長 前事業の場所は返してもらい、今回の運動公園多目的広場を12月9日に新たに新契約書を交わし、工事を始める予定である。

問 前事業所の敷地より今回の場所は狭いが、景観を良くするために植樹された桜の木を工事の邪魔になるから伐採するとはどういうことか。建設に支障はないと話されたが。

村長 前事業所の敷地と比べると今回の運動公園多目的広場の敷地は狭く工事を行うにあたって支障をきたすとのことで、老木もあり危険防止も兼ねて国道側の桜の木を伐採することになった。直下の村道に毎年倒れてくる斜面の杉、竹林についてもはっきり言えないが、伐採等を検討している。

保健課長 現在の場所は周回道路を設けており車両の通行で工事の支障にならないように桜の木の伐採が必要になった。

問 一勝地駅前にはぎわい創出事業計画は、県道の高上げ終了後事業開始となっているが、復興まちづくり事業として取り組むべき内容を整理されて進めておられるのか。

復興推進課長 現在、県道の高上げのスケジュール的にはまだ明確になっていないが、友尻地区に示された高さを基に計画を進めている。

問 高上げが決まっていないのに、新しい施設の設計、整備など逆だと思いが。

復興推進課長 駅前の県道あたりは現段階での計画を想定して、新しく建設する施設の建設費用を把握するために準備中である。

問 国道219号の中園地区の危険いっばいの県道一勝地高沢線は改良工事はないのか。

建設課長 以前から改良工事の計画はあったが、災害を受け計画が中止というか白紙になった状況であり、県からの説明を受けているが、国の事業として中園地区と球磨川と国道の間、高上げの計画があり、県の方も県道の入り口の改良については検討しており、事故が起こらない内に早く事業計画をお願している状況である。



特別養護老人ホーム千寿園が建設される運動公園

くまっこ 渡保育園

保育目標



心のやさしい子ども

- ・相手の気持ちを思いやる心をもつ子ども
- ・自分の気持ちや考えを表現できる子ども
- ・美しいものに感動できる子ども
- ・自然や動物をいたわり愛する子ども

みんなとなかよくする子ども

- ・人とかかわりの中で喜びや悲しみなどを共感しあうことができる子ども
- ・みんなと力を合わせて物事に取り組むことができる子ども
- ・いのちを大切にす子ども
- ・平和を愛する子ども

がまんづよい子ども

- ・最後まであきらめずやりとおす子ども
- ・ルールや約束ことを守る中で、がまんする心をもつ子ども
- ・心も体もつよい子ども

おはなしがきける子ども

- ・相手の目を見て、おはなしがきける子ども
- ・想像力や感性が豊かな子ども
- ・集中できる子ども
- ・考える子ども

<園児代表> 山並 零くん

お友だちといっぱい遊べるから保育園が大好きです。ジスターやカプラ、外遊びではかくれんぼをして遊ぶのが大好きです。

<園児代表> 西 望愛さん

保育園はいっぱい遊べるから大好きです。外でかくれんぼや鉄棒、すべり台をして遊ぶのが好きです。1年生になるまでに早起きやお片付けを頑張ります。

<園児代表> 境目 陽葵さん

保育園が大好きです。お友だちや先生がいるから楽しいです。頑張って練習して運動会で一輪車に乗れたのが嬉しかったです。1年生になるまでに早起きを頑張ります。

<年長児担任> 永椎 あゆみ

年長そら組さんは、男子10名、女子6名の計16名です。身体を動かすことが大好き、誰にでも優しい、歌が上手、ときには喧嘩もするけれど、本当はとっても仲良しな年長さんです。

ひとつのこと(目標)に向けての活動では、みんなで協力してお互い励まし合って取り組むことができる頑張り屋さん。今年度も運動会に向けて一輪車の練習を頑張って乗れるようになったり、発表会での合奏や劇はコツコツと日々練習し、立派に披露することが出来ました。卒業まで残り3か月。たくさん遊んで『保育園は楽しかった』と思い卒園出来るように日々楽しく笑顔いっぱい過ごしていきたいと思います。

編集後記

熊本県の公表で、令和4年10月1日現在の推計人口調査の結果、令和2年7月豪雨で甚大な被害に逢った球磨村の減少率が11・84%と突出しており、総人口2,018人と発表されました。

被災者の生活再建先が村外となり、世帯が一緒に転出されたため大きく減少したと言われています。

今、災害住宅の建設や宅地分譲など、迅速な対応が進められています。私たちが住む球磨村がいかに住みやすい環境になるのか、若者や高齢者がいかに安心して暮らせるのか、帰って来られるための環境づくり、災害からの復旧復興を早急に進めなければなりません。

未だコロナ禍が収まりませんが、3年の時間は戻りませんが、以前のように平穏な時を迎えられるよう、そして、地域の皆さんが普段の会話が出来るような環境となるよう、春の到来とともに待望したいと思えます。

宮本 宣彦

議会広報特別委員会

委員長	板崎 壽一
副委員長	西林 尚賜
委員	宮本 宣彦
委員	永椎 樹一郎

■球磨村世帯数:1,270世帯 ■人口:2,943人 男:1,410人 女:1,533人(令和5年2月1日現在)